



STAR'S REPORT

2008年2月期 中間報告書

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2008年2月期中間期(2007年3月1日から2007年8月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

2007年11月

取締役社長 鈴木俊弘



1 当中間期の業績について

当中間期の連結売上高は前年同期比19.1%増の346億8千万円となりました。営業利益は同51.8%増の64億7千9百万円、経常利益は同51.6%増の67億9千2百万円、中間純利益は同47.8%増の39億6千5百万円と中間期ベースで過去最高益を更新しました。

工作機械事業は、引き続き旺盛な設備投資需要に支えられ、売上・利益とも中間期ベースで過去最高益を更新しました。さらに特機事業が好調に売上・利益を伸ばしたことにより、このような好業績を達成することができました。

2 好調に伸長した工作機械事業、特機事業の状況について

工作機械市場は、欧州地域を中心に世界的な設備投資の増勢が続きました。当社グループにおいても、欧州では自動車・電気・医療部品などの幅広い分野で受注が拡大し、アジアにおいても一般機械・電気関連業界向けが堅調に推移しました。

Contents

トップメッセージ	1	連結財務諸表〔要約〕	9
連結業績ハイライト	4	単体財務諸表〔要約〕	12
ニュース&トピックス	5	会社の概況	13
事業別の概況	7	株式の状況	14

製品別では、高生産性と機械剛性が評価された新製品のSR-20RⅢをはじめとしたSRシリーズやコストパフォーマンスに優れたSB-16シリーズが、引き続き客先より高い支持を受け売上が伸びました。生産面では、増加する受注に対応するため工場スペースの拡大を進めるとともに、合理化設備の導入など生産性の向上に努めました。

特機事業においては小型プリンタがPOS市場をはじめ宝くじ発券機・キオスク端末など幅広い用途に受け入れられたほか、ロシア・中南米などの新興国市場での需要獲得を通じて前年同期比で売上が大きく伸びました。

3 その他の事業の状況について

コンポーネント事業の主力市場である携帯電話向けでは、小型化を図ったマイクロフォンが市場に受け入れられ数量増加となりました。スピーカーも業界初の角型表面実装スピーカーが国内自動車市場のETC機器向けに採用が広がるなど数量増加となりました。マイクロフォン、スピーカーは販売数量を伸ばしましたが、電子ブザーの縮小傾向が続き売上が減少しました。

精密部品事業では、カーオーディオ向け部品が中国の自動車市場の拡大を背景に堅調に推移したものの、腕時計部品、小型ハードディスク駆動装置(HDD)部品が伸びを欠く展開となりました。

4 通期の見通しについて

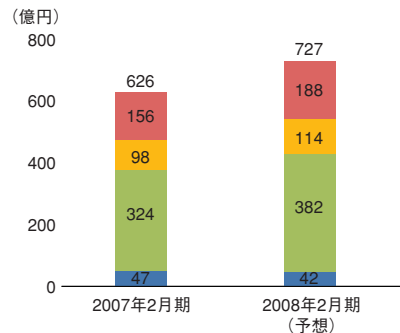
今後の経済情勢は、米国では、サブプライムローン問題の影響により景気の減速リスクが懸念され、またその影響が他国の金融・為替市場に心理的不安を呼び起こす負の連鎖が見られるなど、世界的に景気の先行きは不透明感が広がっています。

このような状況下における各事業の見通しですが、特機事業については、小型プリンタは、下期も引き続き米国や中国市場において需要の伸びが見込まれ、大型プリンタも堅調に推移する見込みのため、増収増益を見込んでいます。

2008年2月期見通し

セグメント別売上高

(●特機事業 ●コンポーネント事業 ●工作機械事業 ●精密部品事業)



コンポーネント事業については、前期から電子ブザーの減少により苦しい状況が続いたものの、下期はレシーバー、スピーカー、マイクロフォンともに、携帯電話の新機種への搭載が大幅に見込まれます。売上は増加となるものの、営業利益は上期の売上減の影響により減益を見込んでいます。

工作機械事業については、海外需要の好調が持続し、BRICs市場の伸長も期待できるため、SRおよびSBシリーズを中心に、増収増益を見込んでいます。

精密部品事業については、引き続き腕時計部品とHDD部品が厳しい状況が続くため、売上・営業利益ともに減少を見込んでいます。

以上により、通期の連結業績については、売上高は前期比16.1%増の727億8千万円、営業利益は同35.7%増の141億7千万円、経常利益は同35.1%増の146億8千万円、当期純利益は同29.8%増の91億円となる見通しです。

5 株主の皆様へ

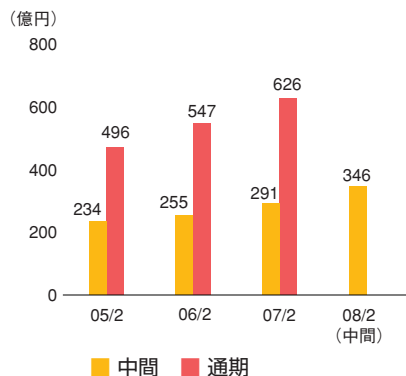
株主の皆様への利益還元としまして当期の中間配当は、前期の中間期に比べ12円増配の26円とさせていただきます。また、期末配当につきましても前期末に比べ8円増配の26円を予定しております。

今後とも業績の一層の向上と企業価値の増大に向け、グループ一丸となって努力してまいります。

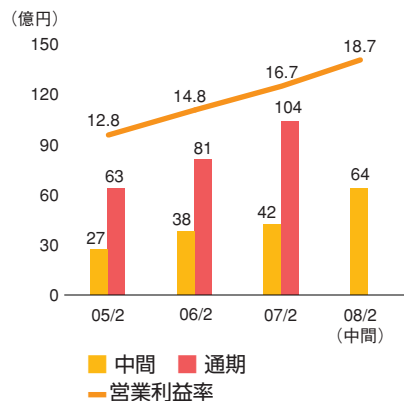
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



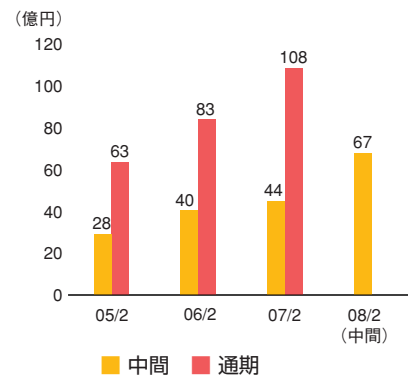
売上高



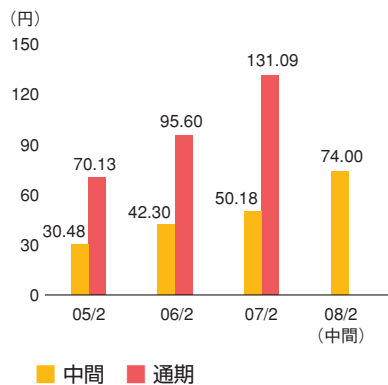
営業利益／営業利益率



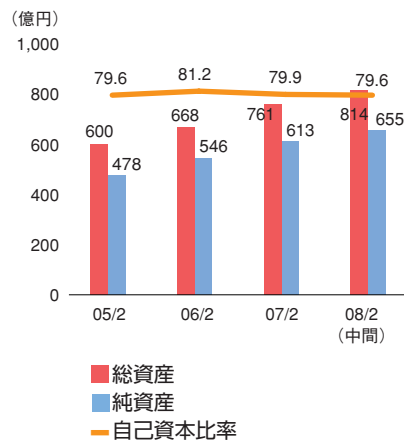
経常利益



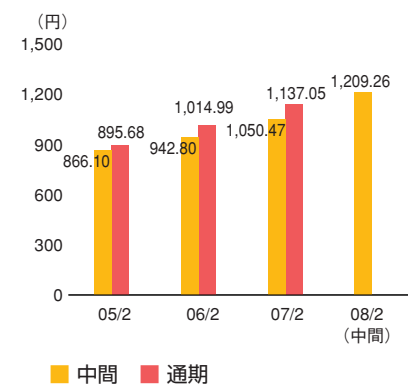
1株当たり純利益



総資産／純資産／自己資本比率



1株当たり純資産



(注) 会社法施行に伴い、2006年2月期以前については、従来の「株主資本」を「純資産」に変更し、必要な数値調整を行っております。

2007年4月

タイ・アユタヤに子会社設立

タイ・アユタヤに精密部品の受託加工を行う子会社S&K プレシジョン テクノロジーズ(タイランド) Co., LTDを、片山鋳螺工業株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:片山 忠之)との共同出資により設立しました。

タイは、主要HDDメーカーが集積し、世界の生産国となっており、HDD用精密部品のニーズが高まっています。このようななか、HDD用精密部品を中心に、切削加工からバレル研磨、表面処理および精密洗浄処理までの一貫生産を行うことができる体制を整えました。



S&K プレシジョン テクノロジーズ(タイランド) Co., LTD

2007年7月

直径0.3mm世界最小径ねじを製作

当社の精密部品事業部では、世界最小径となる直径0.3mm、(高さ約0.8mm)のねじを試作品として製作し、7月25日から27日にかけて東京ビッグサイトにて開催した世界最大規模の超精密・微細加工などに関する専門見本市「第18回マイクロマシン/MEMS展」に参考出品しました。

現在、市場で使用されているねじは、直径0.4mmのものが世界最小径とされており(2007年10月現在当社調べ)。今回の見本市への出展にあたり、当社が持つ小型精密加工技術をさらに進化させるために、世界最小径となるねじの製作に挑戦したものです。

現段階では具体的な需要はありませんが、小型化が進む精密機器および半導体関連向けなどとして利用の可能性もあり、これらの用途向けに案内を進めています。

2007年5月/8月

個人投資家向け会社説明会を開催

5月8日に東京、8月8日に静岡において個人投資家向け会社説明会を開催しました。当日は取締役社長の鈴木俊弘より当社の事業内容、業績などについてご説明させていただきました。両会場とも多数の個人投資家の方にご来場いただき、当社について知っていただくよい機会となりました。



東京での会社説明会の模様

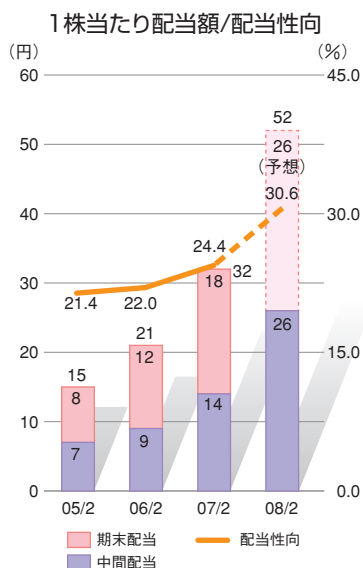


世界最小径ねじ 直径0.3mm

株主還元

中間・期末とも増配し年間52円へ

当社では、今期以降の配当につきましては、連結業績を重視し連結当期純利益の30%を基本とし、将来の会社を取り巻く環境なども勘案しながら実施したいと考えております。工作機械事業と特機事業が好調に推移していることなどから、前記の基本方針に従い、当期の中間配当につきましては、前期中間配当に比べ12円増配の26円とさせていただきます。また、期末配当につきましては、前期末に比べ8円増配の26円を予定しております。これにより当期の年間配当は前期に比べ20円増配の52円となる見込みです。



■ 新製品紹介 ■

高速で鮮明印字が可能 レシート用小型プリンタを発売

アジアの漢字圏におけるPOS市場を主なターゲットとしたレシート用の小型ドットインパクトプリンタ「SP700」を開発し、2007年4月より販売を開始しました。本機は、レシート用ドットインパクトプリンタとしては業界で初めて18ピンヘッドを搭載した製品です。漢字が一度の動作で印字できるため、9ピン機と比較して漢字の印字スピードは約2倍となり、桁ずれもなく鮮明な印字が可能です。赤黒の2色印字にも対応し、様々な表現が可能です。また、用紙を投げ込むだけでセットできるドロップイン方式を採用し、使い勝手にも配慮しています。



SP700

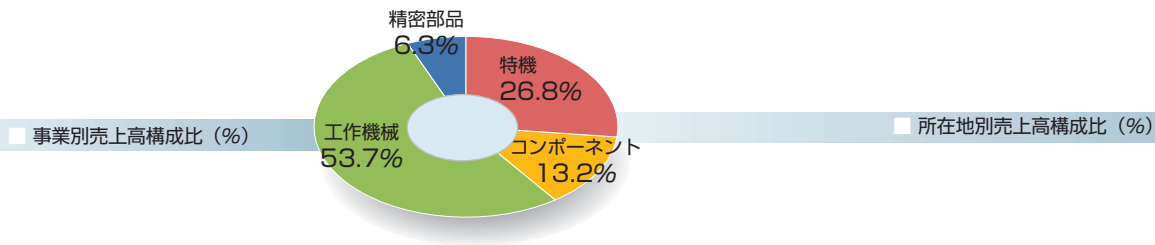
残材料の大幅削減が可能なCNC自動旋盤を発売

CNC自動旋盤の新製品として「SR-25/32J typeN」を開発し、2007年12月より販売を開始します。本機は、高剛性を実現した当社既存機種のスイス型CNC自動旋盤「SR-25/32J」から材料を支持するガイドブッシュ装置を取り除いたタイプの製品です。

太径・短尺部品の加工に最適で、ガイドブッシュ装置がないことにより材料の後端まで加工が可能となり、従来機に対し、残材料を3分の1程度にまで短くすることができます。材料費高騰が続くなか加工用の材料費コストを抑えることができ、あわせて廃棄材料も少なくすることができる環境にも優しいマシンです。



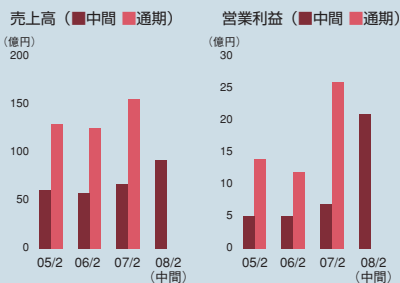
SR-32J typeN



● 特機事業

小型プリンタは、多機能サーマルプリンタとして評価の高いTSP100の代理店向けの販売拡大、POS・宝くじ発券機・キオスク端末などの幅広い分野での大口受注の獲得、ロシア・中南米などの新興国市場での需要獲得を通じて前年同期比で売上を大きく伸ばしました。また、新製品としてPOS市場向けに業界最高水準の機能を備えたTSP700Ⅱを投入し、拡販を図りました。一方、大型プリンタは、中国市場において事務機器用として安定した需要がありました。利益面では、売上の増加に加え、コストダウンに努めたことにより大幅な利益の増加となりました。

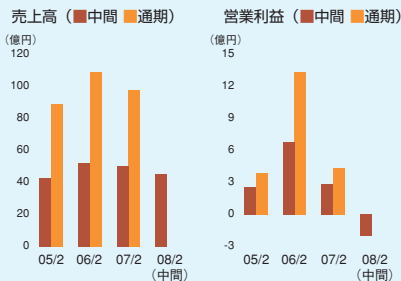
以上の結果、当事業の売上高は92億8千3百万円(前年同期比38.2%増)、営業利益は21億4千2百万円(前年同期比182.5%増)の大幅な増加となりました。

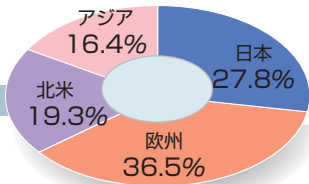


● コンポーネント事業

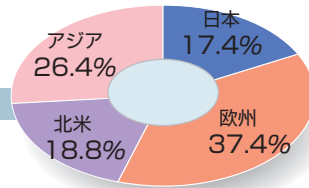
当事業の主力市場である携帯電話向けでは、小型化を図ったマイクロフォンが市場に受け入れられ前年同期比1.4倍の数量増加となりました。スピーカも携帯電話向けの販売が拡大するとともに、業界初の角型表面実装スピーカが国内自動車市場のETC機器向けに採用が広がるなど前年同期比1.4倍の数量増加となりました。レシーバーは、主力タイプは堅調に推移しましたが、従来タイプを搭載した携帯電話の販売終了もあり数量は前年同期比で減少しました。また、電子ブザーは自動車関連市場で環境対応そして安全規格対応製品として高い評価を受けましたが、携帯電話における搭載が終息に向かい大幅に数量が減少しました。利益面では、売上の減少とメーカーからの継続的な値下げ要請もあり厳しい状況が続きました。

以上の結果、当事業の売上高は45億8千8百万円(前年同期比8.7%減)、営業損失2億6千2百万円となりました。





海外売上高構成比 (%)



● 工作機械事業

CNC自動旋盤は、国内の設備需要に一服感が見られましたが、海外における旺盛な設備投資需要の持続と当グループ製品群の高い競争力に支えられ売上を伸ばしました。特に、欧州では自動車・電気・医療部品などの幅広い分野で受注が拡大し、アジアにおいても一般機械・電気関連業界向けが堅調に推移しました。製品別では、高生産性と機械剛性が評価された新製品のSR-20RⅢをはじめとしたSRシリーズやコストパフォーマンスに優れたSB-16シリーズが、引き続き客先より高い支持を受け売上を伸ばしました。また、アジア、BRICs市場において現地技術スタッフの増強を行い、拡大する市場ニーズに対応するためサービス体制の強化を図りました。生産面では、増加する受注に対応するため工場スペースの拡大を進めるとともに、合理化設備の導入など生産性の向上に努めました。

以上の結果、当事業の売上高は186億1千9百万円(前年同期比24.8%増)、営業利益は53億6千5百万円(前年同期比45.6%増)となりました。



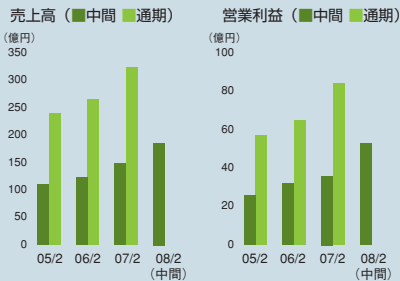
ECAS-32T



SR-20RⅢ



SB-16 typeD



● 精密部品事業

腕時計部品は、ムーブメントの減少と価格競争により売上の減少を余儀なくされました。一方、非時計部品では、HDD部品は新しいOSを搭載したノート型パソコンの普及やカーナビゲーション向けでは需要の拡大を受けて堅調に推移しましたが、携帯型音楽プレーヤー向けで受注の減少がありました。また、中国の子会社で生産するカーオーディオ向け部品は、中国の自動車市場の拡大を背景に売上を伸ばしました。

以上の結果、当事業の売上高は21億8千8百万円(前年同期比11.0%減)、営業利益は4億7千6百万円(前年同期比29.4%減)となりました。

なお、本年4月にタイ・アユタヤに精密部品の受託加工を行う子会社として、S&Kプレジジョン テクノロジーズ(タイランド) Co., LTDを設立しました。



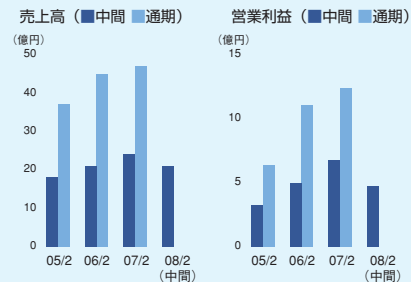
腕時計部品



HDD他各種デジタル関連機器用部品



医療用部品



連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当中間期 2008年2月期中間	前 期 2007年2月期	前中間期 2007年2月期中間
資産の部			
流動資産	58,184	53,619	46,943
現金及び預金	22,108	20,699	15,993
受取手形及び売掛金	16,586	15,242	14,294
有価証券	611	1,036	1,136
たな卸資産	14,521	12,529	11,867
その他の流動資産	4,356	4,111	3,650
固定資産	23,254	22,575	22,119
有形固定資産	16,798	16,355	15,916
無形固定資産	1,435	1,482	1,616
投資その他の資産	5,020	4,737	4,586
資産合計	81,439	76,194	69,062
負債の部			
流動負債	15,083	13,878	11,659
支払手形及び買掛金	6,873	5,942	5,731
その他の流動負債	8,210	7,936	5,928
固定負債	797	920	778
役員退職引当金	—	230	177
退職給付引当金	27	24	20
その他の固定負債	770	665	579
負債合計	15,881	14,799	12,437
純資産の部			
株主資本	62,541	59,486	55,860
資本金	12,721	12,721	12,721
資本剰余金	13,952	13,937	13,927
利益剰余金	36,605	33,604	30,023
自己株式	△738	△777	△812
評価・換算差額等	2,282	1,404	340
その他有価証券評価差額金	695	917	940
為替換算調整勘定	1,587	487	△600
少数株主持分	734	504	423
純資産合計	65,558	61,395	56,624
負債純資産合計	81,439	76,194	69,062

連結損益計算書		単位：百万円		
科目	当中間期 2008年2月期中間	前中間期 2007年2月期中間	前期 2007年2月期	
売上高	34,680	29,122	62,670	
売上原価	19,856	17,597	37,004	
売上総利益	14,824	11,524	25,665	
販売費及び一般管理費	8,344	7,256	15,221	
営業利益	6,479	4,267	10,444	
営業外収益	414	269	576	
受取利息	285	129	343	
受取配当金	32	33	48	
特許収入	44	67	105	
雑収入	52	37	79	
営業外費用	101	55	159	
支払利息	0	0	0	
為替差損	62	49	149	
雑損失	38	5	9	
経常利益	6,792	4,482	10,862	
特別利益	106	78	127	
固定資産売却益	15	5	55	
有価証券売却益	—	2	2	
投資有価証券売却益	—	69	69	
貸倒引当金戻入額	0	—	—	
損害補償金	90	—	—	
その他	0	—	—	
特別損失	82	47	135	
固定資産処分損	82	47	135	
税金等調整前中間(当期)純利益	6,817	4,512	10,854	
法人税、住民税及び事業税	3,078	2,000	4,145	
法人税等調整額	△285	△238	△425	
少数株主利益	60	68	122	
中間(当期)純利益	3,965	2,683	7,012	

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当中間期	前中間期	前期
	2008年2月期中間	2007年2月期中間	2007年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,909	4,522	10,711
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,258	△1,302	△3,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△788	△627	△1,330
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	△268	560
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△95	2,324	6,772
現金及び現金同等物の期首残高	21,196	14,424	14,424
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	21,100	16,748	21,196

連結株主資本等変動計算書

(2007年3月1日から2007年8月31日まで)

単位：百万円

	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
2007年2月28日残高	12,721	13,937	33,604	△777	59,486
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△963		△963
中間純利益			3,965		3,965
自己株式の取得				△6	△6
自己株式の処分		14		45	60
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	14	3,001	38	3,054
2007年8月31日残高	12,721	13,952	36,605	△738	62,541

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
2007年2月28日残高	917	487	1,404	504	61,395
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当					△963
中間純利益					3,965
自己株式の取得					△6
自己株式の処分					60
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	△221	1,100	878	229	1,107
中間連結会計期間中の変動額合計	△221	1,100	878	229	4,162
2007年8月31日残高	695	1,587	2,282	734	65,558

貸借対照表		単位：百万円		
科目	当中間期 2008年2月期中間	前 期 2007年2月期	前中間期 2007年2月期中間	
資産の部				
流動資産	33,556	31,454	29,001	
現金及び預金	6,956	6,951	5,841	
受取手形及び売掛金	13,624	12,546	11,904	
有価証券	498	998	1,098	
たな卸資産	7,277	6,275	5,847	
その他の流動資産	5,200	4,681	4,308	
固定資産	28,033	27,366	27,293	
有形固定資産	9,513	9,453	9,534	
無形固定資産	355	311	308	
投資その他の資産	18,164	17,601	17,450	
資産合計	61,590	58,821	56,295	
負債の部				
流動負債	10,499	9,556	8,785	
買掛金	6,776	5,770	5,741	
未払法人税等	1,796	1,700	1,294	
賞与引当金	964	946	852	
その他の流動負債	962	1,139	897	
固定負債	710	853	719	
役員退職引当金	—	230	177	
その他の固定負債	710	623	541	
負債合計	11,209	10,410	9,504	
純資産の部				
株主資本	49,685	47,493	45,849	
資本金	12,721	12,721	12,721	
資本剰余金	13,952	13,937	13,927	
利益剰余金	23,749	21,611	20,013	
自己株式	△738	△777	△812	
評価・換算差額等	695	917	940	
純資産合計	50,380	48,410	46,790	
負債純資産合計	61,590	58,821	56,295	

損益計算書		単位：百万円		
科目	当中間期 2008年2月期中間	前中間期 2007年2月期中間	前 期 2007年2月期	
売上高	25,394	22,233	45,966	
売上原価	16,962	15,185	31,001	
売上総利益	8,432	7,047	14,964	
販売費及び一般管理費	4,514	4,243	8,677	
営業利益	3,918	2,803	6,287	
営業外収益	1,176	838	1,040	
営業外費用	183	61	212	
経常利益	4,911	3,580	7,115	
特別利益	100	73	78	
特別損失	37	44	82	
税引前中間(当期)純利益	4,973	3,609	7,112	
法人税、住民税及び事業税	1,882	1,316	2,521	
法人税等調整額	△10	9	△40	
中間(当期)純利益	3,102	2,284	4,630	

株主資本等変動計算書		(2007年3月1日から2007年8月31日まで)								単位：百万円			
	資本金	株主資本								自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計
		資本剰余金			利益剰余金								
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
2007年2月28日 残高	12,721	13,876	61	13,937	764	45	10,543	10,258	21,611	△777	47,493	917	48,410
中間会計期間中の変動額													
剰余金の配当								△963	△963		△963		△963
中間純利益								3,102	3,102		3,102		3,102
固定資産圧縮積立金の取り崩し						△1		1	—		—		—
自己株式の取得										△6	△6		△6
自己株式の処分				14	14					45	60		60
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)												△221	△221
中間会計期間中の変動額合計	—	—	14	14	—	△1	—	2,140	2,138	38	2,192	△221	1,970
2007年8月31日 残高	12,721	13,876	76	13,952	764	43	10,543	12,398	23,749	△738	49,685	695	50,380

会社概要

設立	1950年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	640名 <small>(注) 契約社員等の年間平均雇用人員169名を除いております。</small>
営業目	1.特機(大型プリンタ、小型プリンタ、カードリーダー) 2.コンポーネント(電子ブザー、マイクロフォン、スピーカー、レシーバー) 3.工作機械(CNC自動旋盤等工作機械) 4.精密部品(腕時計部品、通信機器用・自動車用・医療用等部品)

役員

代表取締役 取締役社長	鈴木 俊弘	監査役(常勤)	澤田 博行
専務取締役	佐藤 肇	監査役	伊東 勝治
常務取締役	興津 智彦	監査役	山田 修
取締役	伏見 千秋	<small>(注) 監査役3氏は、いずれも会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。</small>	
取締役	城島 里見		
取締役	田中 博		
取締役	倉前 隆		

事業所

(2007年11月8日現在)

■本社	〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10 TEL.054-263-1111
■特機事業部 庵原工場	〒424-0066 静岡県静岡市清水区七ツ新屋536 TEL.054-347-0111
■コンポーネント事業部 庵原工場	〒424-0066 静岡県静岡市清水区七ツ新屋536 TEL.054-1900
品質技術センター	〒422-8001 静岡県静岡市駿河区中吉田18-12 TEL.054-263-1303
■機械事業部 菊川工場	〒439-0023 静岡県菊川市三沢字北ノ谷1500-34 TEL.0537-36-5511
東京営業所	〒179-0074 東京都練馬区春日町3-34-26 ユウトメモリアル1-2F TEL.03-5987-2855
大阪営業所	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル6階 TEL.06-6395-1559
名古屋営業所	〒465-0043 愛知県名古屋市中区区宝が丘25 グローバル25 5-A TEL.052-777-1505
諏訪営業所	〒392-0012 長野県諏訪市大字四賀2258-7 TEL.0266-58-8132
■精密部品事業部 富士見工場	〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎391 TEL.054-346-0234



STAR GROUP NETWORK

主な海外子会社

会社名/所在地	資本金	出資比率	区分
● スターマイクロニクス アメリカ・INC (SMA) アメリカ・ニュージャージー	6,000千米ドル	100% (100)	販売会社
● スターマイクロニクス アジア・LTD (SMH) 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	100%	販売会社
● スターマイクロニクス ヨーロッパ・LTD (SME) イギリス・ハイウィッカム	4,600千英ポンド	100%	販売会社
● 天星精密有限公司 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	70%	生産会社
● 斯大精密(大連)有限公司 中国・大連市	67,885千米ドル	100% (2)	生産会社
● スターマイクロニクス・AG (SMAG) スイス・チューリッヒ	5,000千スイスフラン	100%	販売会社
● スターマイクロニクス GB・LTD (SMGB) イギリス・ダービーシャー	130千英ポンド	100%	販売会社
● スターマイクロニクス・GmbH (SMGH) ドイツ・ノイエンビュルク	3,941千ユーロ	100%	販売会社
● スター CNC マシンツール Corp. (SMTC) アメリカ・ニューヨーク	1米ドル	100% (100)	販売会社
● スターアメリカ ホールディング・INC (SAH) アメリカ・デラウェア	10,000千米ドル	100%	持株会社
● 上海星榮精機有限公司 中国・上海市	21,520千人民元	60%	生産会社
● スターマシンツール フランス・SAS (SMTF) フランス・オートサボア	350千ユーロ	100% (100)	販売会社
● 上海星昂機械有限公司 中国・上海市	2,482千人民元	100%	販売会社
● スターマイクロニクス(タイランド) Co., LTD (SMTL) タイ・サムトラブカーン	4,000千タイバーツ	49%	販売会社
● S&K プレジジョン テクノロジーズ(タイランド) Co., LTD (S&K) タイ・アユタヤ	120,000千タイバーツ	70%	生産会社

(注) 出資比率の欄の()内は、間接所有割合。

国内子会社

会社名	所在地	資本金	出資比率	区分
(株)ミクロ岳美	静岡県静岡市	10百万円	100%	生産会社
東新精機(株)	静岡県菊川市	10百万円	100%	生産会社
(株)ミクロ札幌	北海道石狩市	250百万円	100%	生産会社
(株)ミクロ富士見	静岡県静岡市	15百万円	100%	その他
オーエスマタル(株)	静岡県菊川市	30百万円	100%	生産会社
(株)ミクロ菊川	静岡県菊川市	50百万円	100%	生産会社

株式状況

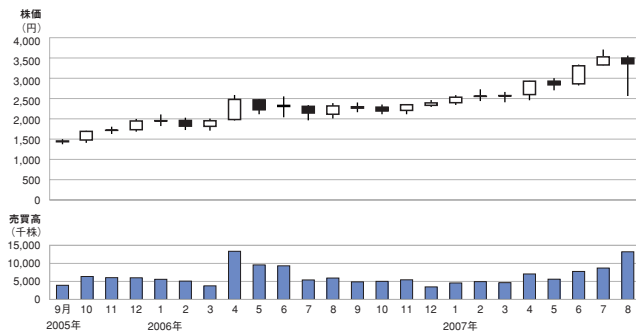
発行可能株式総数	158,000,000株
発行済株式の総数	54,533,234株
株主数	6,536名
1人平均持株数	8,344株
当期中の名義書換件数	258件
当期中の名義書換株式数	9,152,360株

大株主 (上位10名)

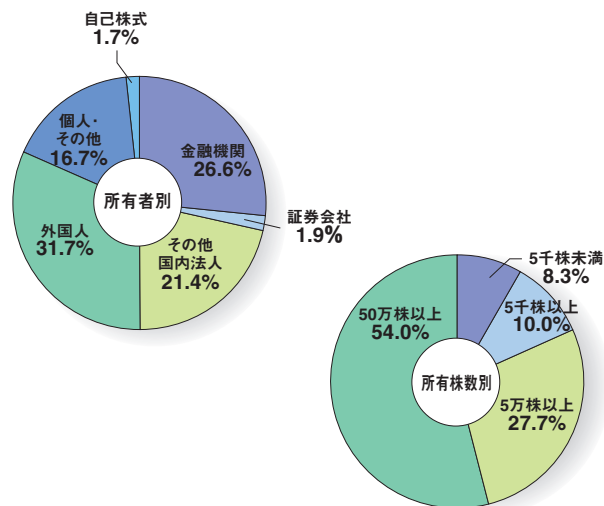
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
シチズンホールディングス(株)	8,658	16.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	3,795	7.1
ゴールドマン サックス インターナショナル	2,220	4.1
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,759	3.3
(株)静岡銀行	1,582	3.0
(株)みずほ銀行	1,348	2.5
ピービーエイチ ノースウエスタン インシュアランス フォーリン エクイティ	1,010	1.9
リズム時計工業(株)	1,006	1.9
ハイアット	972	1.8
モルガン スタンレー アンド カンパニー インク	851	1.6

※当社は、自己株式926千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
また、出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

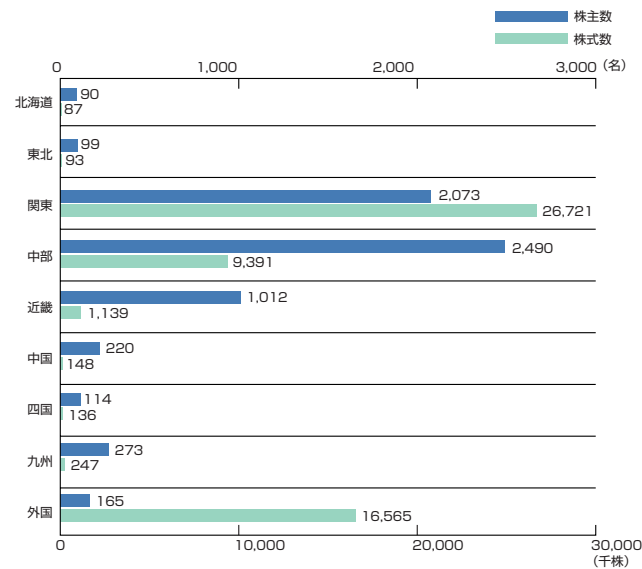
株価および株式売買高の推移 (東京証券取引所)



所有者別・所有株数別分布状況



地域別分布状況



事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
配当の受領株主確定日	期末配当 2月末日 中間配当 8月31日
定時株主総会の基準日	毎年2月末日
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 本店
事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番2号(東銀ビル3階)*
[お問い合わせ先]	☎0120-49-7009
同取次所	中央三井信託銀行株式会社本店および全国各支店
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL(http://www.star-m.jp)
単元株式数	100 株
単元未満株式買取請求および買増請求	単元未満株式の買取請求および買増請求は、上記株主名簿管理人において受付けております。なお、買増請求につきましては2月末日および8月31日のそれぞれ12営業日前から当該日までの期間お取り扱いを停止いたします。その他、会社が定める一定期間買増請求のお取り扱いを停止する場合がございます。
株券喪失登録	株券を紛失された方は、上記株主名簿管理人において株券喪失登録の手続きを行うことができます。株券喪失登録請求を行いますと、株券喪失登録簿に喪失株券の記号番号等が登録されて閲覧に供され、1年間株券喪失登録者もしくは株券所持者による抹消の申請がなければ、当該株券は失効し、新しい株券の交付を受けることができます。株券喪失登録に要する費用は、10,500円(消費税込)に加えて喪失登録株券1枚につき525円(消費税込)です。

諸届用紙のご請求

住所変更・改印等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式(端株)買取請求書および株式名義書換請求書等の諸届出に使用いたします用紙のご請求につきましては次の方法もご利用になれます(24時間、土・日祝祭日もお受けいたします)。

●電話を利用した自動音声応答による受付

☎0120-16-5805

●インターネットによる用紙のご請求

東京証券代行株式会社のホームページにおいて、用紙の印刷およびインターネットメールによる用紙のご請求がご利用になれます。

<http://www.tosyodai.co.jp>

「株式に関する用紙のご請求」、「株式に関する手続きのご案内」、「株式に関する手続きのQ&A」をご参照ください。

※お知らせ

当社の株主名簿管理人である東京証券代行株式会社は、平成19年11月26日をもって次のとおり移転いたします。

●新所在地 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階)

なお、平成19年11月26日以降、ご郵送によるお手続きをなされる場合には下記郵便物送付先へご送付くださいますようお願い申し上げます。

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目7番1号

連絡先 東京証券代行株式会社 代行本部
(お問い合わせ先) ☎0120-49-7009

スター精密株式会社

〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10

TEL.054-263-1111 FAX.054-263-1057

<http://www.star-m.jp>

R100
古紙配合率100%再生紙

PRINTED WITH
SOY INK

環境に配慮した「大豆インク」
を使用しています。